

トラックの内輪差 歩行時に注意して

白糠交通安全教育

【白糠】白糠高校（田村信明校長）は、3年生を対象に交通安全教育を釧路市内の星ヶ浦自動車学校（佐々木拓也校長）で行った。生徒36人がインストラクターの指導の下、体験走行や実験などを通じて運転時や歩行時に気を付けるべきことを学んだ。

9月25日に実施。体験走行では教習車の後部座席に

メジャーで内輪差を測る生徒



乗り、インストラクターの運転で教習コースを時速5キロと30キロで走り、急ブレー

キを掛けた時の衝撃を体感、低速でも衝撃が大きいことに驚き、シートベルト着用の大切さを再認識した。

内輪差実験では大型トラックを使って内輪差を測定し、内輪差で人形が踏みつぶされる様子を見学、トラックの近くでは内輪差を意識して歩くことの重要性を実感した。内田華さん（17）は「きょう学んだことをドライバーとしても歩行者としても気を付けたい」と話していた。（水谷友路）